

もいのにぎわい通信

2010年1月23日 定例活動報告

日時：2010年1月23日（土）9：00～15：30 （一般10：00～15：00）

場所：小山町 観音地周辺谷津田

天候：晴れ 気温 4～9℃ 湿度 % 風向風速 北北東 1m～西南西 3m

参加者：参加者 38人 ：子供14人、大人24人（地元小山町と土地改良区10人含）

活動記録

- 9:00 地元の方集合 作業予定打ち合わせ
- 9:15 場内作業開始
- 9:45 親子受付
- 10:00 親子集合 今日の予定について
- 10:10 親子畑及び果樹苗に施肥
- 10:40 地元の方休憩
- 11:00 斜面除草作業
- 11:45 親子休憩
- 12:15 昼食・休憩
- 地元の方解散
- 13:00 斜面林調査、湧水調査、施肥
- 14:40 片付け
- 15:00 解散

活動報告

今日は一年で一番寒い時期の作業となりましたが、快晴で気温も低くなく暖かな日となりました。今回は、畑の耕起と腐葉土散布、果樹苗の追肥、斜面林の草刈と樹木調査、観音地周辺の湧水調査のほかに1月10日前後に強風で途中から折れた北側の杉の木の処理も行いました。

千葉県生物多様性モデル事業は、昨年8月1日から始まり今月末まで、今回が最後となりました。お陰様で、モデル事業として予定どおりに実施され、野外活動に付き物の事故や怪我もなく、楽しく活動が続けられました。

9：00 地元の皆さんは、9時前より観音地に集合し、焚き火を始める。小高理事長と作業の予定を相談し、急遽、折れた杉はそのままでは危険なため、弱っている木も含め3本を前半の作業に優先し、平行して、移植及び広葉樹植樹の準備のためトラクターによる杉植林部分の耕起、場内東急ゴルフ場側の斜面から上を中心とした除草作業、北側から西にかけての斜面林上部の除草作業を開始した。

9：45 親子参加者の受付開始。

10：00 もりもり遊び隊の子供たち、親子参加者集合。

一輪車でチップ堆肥の山から畑へチップ堆肥散布、チップ堆肥の山には、かぶと虫の幼虫がい

るので、注意して作業を行う。その後、トラクターによる耕起。その後、親子で、1家族3本を目安に果樹(18本)への堆肥入れ作業を開始。カマドの火入れ、焚き木の準備・せんべい汁の準備開始。

10:45 地元作業班休憩。

11:00 西側斜面林の一部に途中まで降りる道を除草しながら確保し、コナラの木(木登り遊びが出来る大木で子供たちが喜びそうな木)に到達できるように整備。今回は斜面に手を入れるのが初めてのため、北側の杉林の延長、西側の土砂流出対策部分、東急GCとの境界フェンス付近と範囲を絞り刈り込んだ。

斜面林を降りることについては話し合いにより、「斜面が急で下の田んぼや畑のあぜなどを崩したりすること、マムシが出るため、下には下りないほうがよい」となりました。また、「春から秋にかけては斜面林に立ち入らないほうが無難。特に下は青道になっていてマムシが」斜面に多くいるので、子供たちにもよく理解してもらい自己管理してもらおう」とこととしました。このため大きなコナラの木を目印にそれより下には行かないように斜面の上数メートルの幅に除草を行っていく方向となりました。

11:45 森もり遊び隊休憩。

12:15 昼食休憩 せんべい汁が振舞われ、先に子供たちが、次いで地元の方も作業を終了した後、野菜もたっぷりのお餅とは一味違うせんべい汁を美味しく頂き解散。午後の調査等の参加者はお弁当を食べる。暖かい日差しの中でぼかぼかと中と外から温められました。

13:00 斜面林調査のメンバー、湧水調査メンバー、施肥作業のメンバーが各作業開始。

斜面林調査は、北側及び西側斜面林の木の種類を調査。木の幹の太さ、木の高さを測った後、スギ、イヌシデ(ソロ)、アオギリ(アオノキ)、コナラ、タラノキ、ヤマザクラ、カヤ、クロモジ、ホウノキ、アジ、ヌルデで(11種)に黄色の目印を付け、位置等を記録。冬の為、葉による判別が出来ず、樹種を判別するのが困難であった。更に急斜面の為、中に入り調査することが出来なかった。

湧水調査は、地元の方の案内で5年前に調査したときに確認した地点を中心に確認していった。調査地点はアザミ谷津、観音地東ふもとの一部及び過去に確認された谷津の最も奥を中心に行った。冬場のため、また、渇水期のため、湧水は確認できなかったが、根ダレ(絞り水)は多くの場所で確認された。谷津の両端は絞り水が集まる青道となっているが水量は少ないもののきれいな水が流れていることが確認できた。今回麓に入るに当たっても草刈機や鎌で刈りながら進まないといけなところや笹を払い枯れた竹を倒して山を迂回する必要があるところもあり、また、一見もぐらなさそうなところを草刈機を持って入った若手の農家の人も「こりゃだめだ・・・もぐってしまう」と引き返す場面や、調査隊のお母さんの片足がもぐってしまい「足が抜けない、どうしよう」と抜こうとすると逆の足がずぶずぶもぐっていく場面もあった。地元の話では村田川のあすみが丘側が最も深く潜る場所で、田植え作業を上から見ていると傘だけが動いていて、足を抜かずに泳ぐように進んでいたとのことでした。夏場は観察そのものが難しいことも確認できた。今回は過去確認された3箇所、赤道の終点の付近、その下流、最も奥を調査・確認できた。付替え道の直下から上流は観音地の水源涵養とは直接関係がないかもしれないが、今後はむしろ観音地の北、西を中心に確認を行うことが課題。

堆肥(チップ堆肥と化成肥料)入れは、カキ、ウメ、スモモ、ブルーベリー、ビワ、イチジク、最後に「被爆アオギリ」に追肥しました。一輪車でチップ堆肥を運ぶ人、果樹苗の周りを30cmの深さに穴を掘る人、子供も大人用のスコップで一生懸命に手伝いました。疲れた子供たちに代わって今度は、お父さんお母さんの出番となり果樹苗の下草を掘り起こす作業は、汗ばむほどでしたが手際よく30本の果樹苗に追肥完了。でも、2年前に植えた600本の苗木には、苗木1本に対して50の腐葉土しか入っていません。今後は、果樹以外の苗木にも堆肥を施していく必要があります。

14:45 参加者全員の集合写真を撮る。

片付け

15:45 解散。暖かな一日でした。皆さんお疲れ様でした。

★お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

・2月27日(土)雨天の場合は28日(日)

小山の森はまだ春が来ていないでしょうか?2月は森の木の移植を一部行い斜面の笹刈り、堆肥作り、池の整備、斜面林の調査やちょっとした冒険です。お昼は焚き火やカマドで何かつくりましょう。

解散前の集合写真



カブトムシの幼虫 見つけた！



追肥はこうやって！

